

「思い出と宝物とともに」

寒河江 敬子さん(ゆり組 寒河江 隆斗さんのお母様)

「今日〇〇君と遊んだよ」「今日〇〇ができたんだよ」帰りの車の中で沢山話してくれる隆斗。年長になってから特に、園行事で責任ある役割をさせていただく中で精神的な成長が著しく、家では見せない表情で頑張る姿に目頭が熱くなりました。



同年齢、異年齢のお友達との関わりを通じて、園という社会の中で沢山の経験をjして葛藤しながら成長しているのだなあと感じます。これも一重に先生方が温かい目で一人ひとりを見守って下さっているお陰です。

慌ただしく生活する中で、家庭では先回りしてしまい難しい「見守り」を丁寧にjしていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

生後3ヶ月から園にお世話になり、朝バイバイ出来なくて泣いてばかりいた隆斗も今年で卒園。園で培った沢山の宝物と一緒にこれからも健やかに成長して欲しいと思っています。

「ばばのかわいい宝物」

五十嵐 晴美さん(すみれ組 竹田 陽菜さん、もも組 結陽さんのおばあ様)

南部保育園にお世話になり約5年。日々、目まぐるしく過ぎていく毎日。私の2人の宝物たちは、どんどん成長し集団生活の中で沢山のことを学び、自然に覚えていく姿に感心しております。

ばばは、何年経っても朝の見送りで離れる時に悲しい顔をされると、目頭を熱くしながら園の玄関を出ることもしばしば…(笑)

でも、家に元気に帰って来て、園でのことやお友だちのことを話してくれるとホッとひと安心して笑みがこぼれます(\*^\_^\*)

コロナ禍の大変な中で、行事など見ることができず残念な年が続いていますが、そんな中でも子どもたちを見守って下さる先生方に感謝すると共に、私の宝物たちのことをこれからも宜しく願います。



家族でツッキング

ココアラスク



子どもたちに人気のココアラスク。「サクサクだね～」とカリッという美味しそうな音を立てながら食べてくれています。手軽にできるので、ぜひご家庭でも作ってみてください。



(作り方)

1. バターロールを6等分にスライス  
【ポイント】 少し冷凍するとパンが切りやすくなります
2. パンを袋に入れココアを加えフリフリ混ぜ合わせます
3. 天板に並べて上からバターをかけます
4. 170℃のオーブンで12分焼きます  
冷めたらサクサクのラスクが完成です

材料【2~3人分】  
バターロール 2個  
ミルクココア 3g  
バター 5g



編集後記



新型コロナウイルス感染症の波が何度も押し寄せ、行事の中止や閉園など様々な制限が求められるようになり2年が経ちます。

このwithコロナ時代に、保育園生活を少しでも楽しく過ごせるように、今年も園庭に遊具を作ったり、室内環境を見直したり、職員と子どもたちで工夫してきました。

今号「あのね〜」では、異年齢保育を通して、子どもたち同士が、教え合い学びあっている様子や、いきいきと楽しく育ち合っている姿を紹介しました。

なかなか日々の保育をご覧いただく機会がない状況ですので、この情報誌では是非その様子を感じていただけるとありがたいです。

# あのね〜

第32号

2022年3月発行  
興道南部保育園  
米沢市本町1丁目1-84  
0238-21-3756



ホームページはこちら



最近、あまり聞きなれないかもかもしれませんが、「この言葉には力強さ」ともに方言独特の温かさを感じられます。

私たち保育者の願いが「かっぴんざん」には「かっぴんざん」の他にも、元気なから「かっぴんざん」も含まれます。そのため大事なのは、周りの大人に気持ちを受容してもらい愛情をもって沢山たくさん可愛られることが根底にあります。そして、友だちや保育者との関わりの中で、豊かな経験心地よい経験を通して育まれるものです。私たちは「このことを大切に保育していきたい」と思っています。

そしてオリンピック選手ではありませんが、いつか壁にぶつかっても乗り越える方法を考えるそんな力を育てたいと思っています。

「かっぴんざん」  
米沢の方言意味は「かっぴんざん」粘り強い  
へんたれないなさ

新型コロナウイルス感染症の流行により一年延期となったオリンピックが今年度開催されました。

様々な制限の中ではありましたが、どの競技もどの選手も素晴らしい感動し、涙し、歓喜しながら、観ている私たちも力をもらったような気がします。オリンピックに賭ける選手たちは、私たちの想像を超える努力をし、様々な壁やプレッシャーにぶつかってながらも、その度に乗り越えて来たのだと思ういます。だからこそ、見ている私たちに感動を与えてくれるのだと思います。

この当園の保育者の願いの中に「園と保護者、地域社会が支え、助け合い、未来にのびのびと子どもたちが、かっぴんざんになつくれることを願っています」という一文があります。

「かっぴんざん」  
興道南部保育園 園長 安久津 明美

# かかわりの中で育ち合う

～ みて・まねて・やってみる ～

当園では1,2歳児はオープン保育、幼児組は異年齢保育をおこなっています。あそびはもちろんですが、今年は生活を軸にしながら異年齢活動をおこなってきました。その中で、大きい子の姿を見て、真似て、やってみようとする小さい子の姿が、様々な場面で見られます。

やってみようとしてもうまくいかないもどかしさを感じたり、どうするとうまくいくのかを考えてみたり、大きい子の力を借りてできる喜びを味わいながら、異年齢活動の中で共に育ち合い過ごしています。時にはトラブルになり、気持ちがうまく伝わらない時が多々ありますが、お互いに気持ちを伝え合いながら、大きい子は小さい子の気持ちを受け止めながら子どもたち同士で考え、育ち合っている姿に頼もしさを感じます。

今年度から、カバン等の持ち物を置くロッカーや食事をそれぞれの異年齢グループの部屋の中に移動しました。

すると、これまでなかなか見えていなかった年長児の当番活動の姿や、年下の子を優しく見守り頼もしくサポートする姿が見えるようになりました。そのような姿を見て、自然と年中・少児も「ぼくもやってみよう」「わたしもできるかも」と進んで当番のお手伝いをするようになりました。様々な行事ごとに、話し合い助け合って異年齢の繋がりは強くなっているようで「年長になったら自分も〇〇くん、●●ちゃんみたいになりたい」と、憧れの存在になっています。

## 幼児組 (3～5歳児クラス)



このゲームを  
たのんじゃって  
まけたら  
まただよ



新しいカードゲーム登場  
ルールをみんなで教え合ってます



おきらと  
スプーン  
あつは  
おつゆもだよ



一本ロープのブランコ  
バランスが難しいけど  
楽しそう～



だいじょうぶだよって  
年少の子を抱っこしてくれる  
年中さん(優しい)

こわいよお～



みぎ、ひだり  
なかよしく  
そらよしく  
こうして...  
ほびてきた



年長さんのお掃除を  
今日は自分たち(年中・少さん)もお手伝い



はしまるよ  
はしまるよ～

ごそりのぞいてみると  
保育者のまねをしているようです(笑)



おれないように  
つちをはらって～  
ほら!あつたよ



なに作ってるの?  
年中さんと年長さんと  
折り紙の折り方を見せ合いっこ



クッキングの支度中  
後ろのリボン結びをお手伝い

## (0歳児クラス) さくら組

0歳児は、ゆったりとした雰囲気の中で安心できる保育者が一人ひとりに温かくかかわり、心地よく過ごしたり、友だちとのかかわりが広がり興味をもったあそびを楽しんでいます。



自分も真似て  
やってみよう  
じ〜と手元を観察中



はいあくち、あ〜ん  
モテ、モテ、モテ...おもしろいね



かたあしずつ  
ズボンもひとりではけるよ～♪



たのしい



あ〜ん  
あ〜ん  
あ〜ん



つめた〜い!

## うめ組 (1歳児クラス)

## もも組 (2歳児クラス)

1,2歳児が一緒にあそび生活をしています。毎日共にすごすことで、大きい子にあこがれたり、小さい子に優しく寄り添ったりと心豊かにのびのびと育つ子どもたちです。



リズム運動やブロックあそび、外あそび  
いろいろな場面で、年下の子を見守ったり手助け  
れたりする姿があります



食器の片付けや  
雪あそびのスーツを着たり  
自分でチャレンジ頑張ってます

ひとりでするよ!



もも組さんがうめ組さんの  
手をつないであげて  
近所までお散歩

